



# 介護施設等において新型コロナウイルス感染症が発生した時の事業所間相互応援体制の整備等

## 1 概要

市では、市内の介護施設等において新型コロナウイルス感染症が発生した場合に備え、市内の介護老人福祉施設連絡協議会や介護事業者連絡協議会、医療・介護地域連携支援センターなどとともに設置した「介護サービス事業所における感染症検討会」で検討を重ね、他の介護施設等から職員を応援派遣する仕組みづくりに取り組んでいます。

このたび、各施設から応援職員を募り、感染症が発生した施設に派遣する「事業所間相互応援チーム」の第1回目募集に対して、市内8施設から25人の登録申込みがありました。今後も、同相互応援チームへの職員登録は、随時、受け付けていきます。

また、この取組と並行して、新型コロナウイルス感染症対策として、公立阿伎留医療センターと連携し、介護老人福祉施設及び介護老人保健施設に、感染症認定看護師を派遣して、ゾーニングや消毒などの研修を行っています。さらに、事業所間相互応援チームの職員に対しても研修を実施する予定です。

## 2 今後の主な流れ

- (1) 事業所間相互応援チームの職員の募集及び登録
- (2) 同応援チームに所属する職員への感染症研修の実施
- (3) 継続して市内の介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での感染症研修の実施
- (4) 施設で新型コロナウイルス感染症が発生した場合には、以下のフローに基づき、同応援チームの職員を派遣する。

